

熊本地震への災害派遣医療チーム（DMAT）派遣について

香川大学医学部附属病院

平成 28 年 4 月 14 日夜と 16 日未明に熊本県を中心に続けて発生した地震により、熊本県と大分県に多大な被害が発生しています。これらの地震に対して本院は 16 日早朝に厚生労働省からの派遣要請を受け、阿部医師、國方看護師、安西看護師、山本薬剤師、松家事務員の計 5 名からなる災害派遣医療チーム DMAT (Disaster Medical Assistance Team)を編成し、16 日朝に派遣し以下の支援活動を行いました。

活動内容)

4 月 16 日 (土)

早朝 厚生労働省からの DMAT 派遣要請

9 時 20 分頃 DMAT 出発

早朝から DMAT を支援する職員十数名ほどが集合し、現地での活動と本院 DMAT 隊が自活できる準備を整え、出発した。

19 時 30 分頃 熊本県菊池市川口病院に参集、その後、山鹿市役所にて自主避難所のライフライン、負傷者などの状況確認を行った。

4 月 17 日 (日)

7 時 30 分 山鹿市役所・保健所で再度自主避難所の状況確認を行った。

17 時 00 分 医療支援要請があり、道路状況を確認しながら熊本市阿蘇医療センターへ移動

20 時 00 分 熊本市阿蘇医療センタースタッフが疲弊しており、当チーム含め 3 チームで、夜間医療支援をおこなった。

4 月 18 日 (月)

7 時頃 現地での 4 8 時間活動を終え、帰路へ

16 時 50 分 大学へ帰着

本院は、今後とも被災地を様々な方法で支援していくとともに、香川県の災害拠点病院としての使命を念頭に地域を支える体制を整えて参ります。



4月16日朝 DMAT 出発



各地から集まった DMAT(阿蘇医療センター)



4月18日夕方帰着した DMAT



今井田医学部長へ挨拶



横見瀬病院長へ活動報告



帰着後、横見瀬病院長へ活動報告